

2023 年度事業報告書

NPO 法人アーツセンターあきた

1. 事業の実績・成果

(1) 総括

秋田公立美術大学(以下、「秋美」という。)の社会連携事業と秋田市文化創造館指定管理事業に加え、新たに秋田市文化創造館内で展開するショップ・カフェの収益事業の運営にも着手した。

2023 年度は秋美開学 10 周年に合わせた記念事業の企画制作に従事し、対外的な情報発信や地域との関係者との連携強化に貢献した。秋美社会連携事業について、運営は安定しているものの、新規案件の掘起しや事業の質的向上という点で課題を残している。秋田市文化創造館は来館者数、施設利用件数ともに大きく実績を伸ばし、堅実な運営基盤が整ってきている。また、今年度より新たに始めたショップ・カフェの運営については、来館動機の創出という点で徐々に成果を挙げている。

(2) 秋田公立美術大学社会連携事業

秋美の研究・教育成果を地域とつなぐ社会連携事業と、大学 広報 事業の企画・制作を受託し、遂行した。

① 広報

秋田公立美術大学サテライトセンターを会場にした企画展(卒業生シリーズ、アニメーション映像祭)は、高い集客力を発揮し、市民・県民の秋美への認知及び理解促進に貢献した。大学案内の制作は、例年よりもスケジュールを大幅に前倒し、学内の複数の利害関係者との調整を進めて制作を進行することができた。

② 教育

美術の担い手育成を目的に、10 代を主な対象としたアートスクール「クリエイティブラボ」や、デッサン・素描の講座を開講した。また、秋美ギャラリーBIYONG POINT を会場に、秋美学生による個展を 5 件制作した。

③ 地域連携

秋美と地域をつなぐ受託事業・受託研究のニーズやシーズを開拓するための、調査活動や相談対応を行い、そのうち 4 件を次年度受注見込みである。

④ 受託事業・受託研究

受託事業・受託研究を 8 件実施し、20 件の相談に対応した。

⑤ 秋美 10 周年記念事業

秋美開学 10 周年に合わせた記念事業の企画制作に従事し、秋田公立美術大学・秋田公立美術工芸短期大学同窓会、秋田商工会議所、秋田県内のものづくりの担い手、秋田公立美術大学附属高等学院、茶道裏千家淡交会秋田青年部、あきびネット個人会員、秋田経済新聞と連携し、合計 9 件のイベントを制作した。

(3) 秋田市文化創造館指定管理事業

① 施設管理

来館者数は 13 万人を超え、施設利用件数は昨年度比約 1.5 倍を記録し、大幅に増加した。利用者の満足度も堅調な水準を維持しており、指定管理業務も 3 年目を迎えて安定感を増している。全国的に見ても稀に柔軟な運営を行う公立文化施設としての注目も高まり、視察や講演依頼も増加傾向にある。

② 指定管理事業

館で滞在制作を行ったおおしまたくろう氏の作品がやまなしメディア芸術アワードで入賞したり、aokid 氏による取組を契機に市民主体の自主的な活動が始まったり、さらに臼井仁美氏は滞在中につながった地元企業とのコラボレーションが決まったりと、主催事業の波及効果が着実に生まれている。

(4) 自主事業(非収益)

① 秋田市文化創造プロジェクト・フォローアップ事業「PARK—いきるとつくるのにわ」

秋田市から文化創造プロジェクト・フォローアップ事業を受託し、秋田市文化創造館を拠点としたクリエイターや市民協働型によるプロジェクトを制作し、成果発表として展覧会「交わるにわ、創造するキッチン」を開催した。

② その他

「市民協働ミーティング」や「ジャパン・ライブエール・プロジェクト in あきた」等の公共性の高い事業を受託し、企画・制作に従事した。

(5) 自主事業(収益)

秋田市文化創造館内のカフェ・ショップの運営に新たに着手し、「〇HAJIMARU」をオープン。秋田県内を中心にものづくりに取り組む人々との連携拠点として、商品・サービスの展開やコラボレーションイベントを実施し、来館動機の創出という点で徐々に成果を挙げている。

2. 事業の実施に関する事項

別紙のとおり

以上

2023年度 事業報告書一覧(概要・実績等)

定款	財源	分野	プログラム名	プロジェクト名	事業期間 (開始) ～ 事業期間 (終了)	主たる会場	事業概要	目的	目標	協力教員	協力者・機関	参加者数 (総数)	報道件数	PR実績 (配信数)	ウェブ実績 (掲載数)	SNS実績 (投稿数)
① 地域団体と連携した芸術活動の推進に関する事業	大学受託	地域連携	ドンパン娘シンボルキャラクター・ロゴPR事業	-	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田公立美術大学、大仙市	2022年度に作成したドンパン娘のロゴ・キャラクターの活用について、地域企業などとともに商品開発を通して実践的に取り組む。また、道の駅なかせんの内観についてロゴやキャラクターをディスプレイや装飾に用いる方法を実践的に検討する。	中仙地域の地域資源でもある「ドンパン娘」に焦点を当て、2022年度に開発したロゴやキャラクターを用いた地域活性化を目的とする。	ロゴ・キャラクターを用いた商品を開発し、中仙地域の活性化に寄与する。	石川昌	大仙市	12	2	1	3	-
	大学受託	地域連携	にかほ市×秋田公立美術大学協働プロジェクト「ジオカルチャー研究プロジェクト」	-	2023/4/1 ～ 2024/3/31	にかほ市内・秋田公立美術大学	教員・助手・学生などによる「ジオカルチャー」を主題にして2022年度に立ち上げた三つの領域「野外アクティビティ領域」「伝統・伝承領域」「地域資源領域」について継続して、にかほ市内を主とする調査・研究を行う。調査・研究の過程は紙面等にまとめて市民を対象に配布するとともに、地域への還元を視野に入れた取り組みも検討しながら、本研究の発信と研究成果の共有を実施する。	にかほ市と秋田公立美術大学が連携協定を締結したことを受け、2021年度に、にかほ市・秋田公立美術大学協働プロジェクト「にかほ市リサーチ」を実施し、調査の様子や成果を冊子『にかほ市リサーチ 2021』にまとめた。2022年度には、にかほ市内や周辺地域の調査・比較を経て、にかほ市の全体的な特徴を掴んでいく中で、「大地・生態系・人間」の三つの存在区分を総合する新しい概念として「ジオカルチャー・ツーリズム」というビジョンを掲げ、環境としてのジオス(地球)とこれまでに培われてきたカルチャー(文化)のつながりを研究するプロジェクトとして立ち上げ、三つの領域で研究を開始した。引き続き、自然・ひと・街・歴史・文化・生業などに通底する特性について研究を深めるだけでなく、にかほ市の未来へとつないでいく資源発掘、可能性の発見を目的とする。	新たな観点による地域資源の発見や活用可能性をもたらすための基礎的な調査研究を、行政と大学との協働を通じて継続し、地域への還元も検討しながら進め、地域の可能性を高める。	-	-	約160	1	1	2	-
	単独受託		文化創造プロジェクト・フォローアップ事業	PARK-いきるとつくるのにわ(略称:PARK)	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田市文化創造館ほか	令和4年度より継続し文化創造プロジェクト「PARK - いきるとつくるのにわ」を実施。「観察する」「出会う」「育む」「残す」の4つのプログラムで構成し、中心市街地を拠点に県内外から専門家によるプロジェクトの実施や、市民が主体的に活動する場を創出する。	秋田市が主催する「文化創造プロジェクト」(令和7年度まで継続予定)のフォローアップ事業としての企画を実施し、同プロジェクトの方向性を提示するとともに、運営面における課題やベストプラクティスを秋田市と共有しながら、令和7年度の事業計画を作成する。 ※契約書の目的:リーディング事業として実施した展覧会「200年をたがやす」の実績等を踏まえ、市民が主体性を発揮しながら文化芸術に触れる機会の創出、新たな活動が生まれる機運の醸成を図るためのプロジェクトの企画、および令和5年度以降に実施する地域連携企画の立案、調整、プレ企画、情報発信等を行う。	クリエイターの思考や表現を可視化し、街に展開し市民の活動が育まれる機運を高めていく。	-	秋田市	121,713 ※個別のイベントの参加者数は報告書を参照	13	3	19	135
	単独受託		ジャパン・ライブエール・プロジェクトin秋田	ジャパン・ライブエール・プロジェクトin秋田(略称:JLYP)	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田市文化創造館	ダンサー・アーティストのAokidを招聘し、作品制作と発表を秋田市文化創造館を拠点として行う。	地域の団体や専門家と協働し、市民参加型の作品制作を行うことで、ノウハウの共有や芸術文化に関わる取り組みへの関心喚起を効果的に行う。		-	ジャパン・ライブエールin秋田実行委員会	-	4	1	7	39
	大学受託	地域連携	大館市木育WS	-	2023/4/1 ～ 2024/3/31	大館市内・秋田公立美術大学	大館市支援学校等との再利用木材を用いたおもちゃづくり等を行い、再利用木材の活かし方、使い方などを学びながら、生徒自ら新しいものをつくる素地をつくる。	選手村ビレッジプラザ提供木材の活用による市内教育機関等を対象としたワークショップを開催し、森林や木材への理解を醸成することを目的とする。	大館市の学校等とともに木材の再利用方法を開拓する。	藤浩志	大館市(委託元)・比内支援学校(協力校)	約40	-	-	1(1/11)	-
	単独受託	地域連携	うちのあかりネットワーク醸成業務	-	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田市内	NPO法人 アートリンクうちのあかりを、地域に開かれたこれからの福祉施設を運営する団体にしていくことを目指し、主に秋田市新屋地区での地域ネットワークに参画し、うちのあかりの地域ネットワーク醸成のための次の施策を実施する。 (1) 新屋地域の住民や団体を参加対象とするイベント等のディレクション (2) 本業務における活動に対する新屋地域の住民や団体とのコーディネート (3) 本業務における活動記録作成	NPO法人 アートリンクうちのあかりを、地域に開かれたこれからの福祉施設を運営する団体にしていくことを目的とする。		安藤郁子	NPO法人 アートリンクうちのあかり	-	-	-	-	-

2023年度 事業報告書一覧(概要・実績等)

定款	財源	分野	プログラム名	プロジェクト名	事業期間 (開始) ～ 事業期間 (終了)	主たる会場	事業概要	目的	目標	協力教員	協力者・機関	参加者数 (総数)	報道件数	PR実績 (配信数)	ウェブ実績 (掲載数)	SNS実績 (投稿数)
	単独 受託		市民協働ミー ティング	-	2023/10/27 ～ 2024/3/22	あきた芸術劇 場ミルハス小 ホールA	秋田市が主催する令和5年度市民協働 ミーティングの企画運営に係る受託事 業。今年度はテーマを、「地域課題・地域 資源×ビジネス～地域で持続可能な市 民活動を考える～」とし、秋田市内で市 民活動等に関わる又は関心をもつ市民 が、持続可能な活動運営の事例を学び ノウハウを身につけることで、市内市民活 動の活性化を図ることを目指す。	秋田市内で市民活動等に関わる又は関 心をもつ市民のネットワークを形成し、持 続可能な市民活動を行うための環境を 整備すること。	秋田市内で市民活動等に関わる又は関 心をもつ市民が、資金やその他リソース の効果的な調達方法を学び、活動に活 かすためのヒントを持ち帰ること。	-	-	-	-	-	-	-
	大学 受託	地域 連携	能代北高跡地利 活用可能性検討 業務	-	2023/4/1 ～ 2024/3/31	能代市内・秋 田公立美術大 学	令和3年度検討業務の成果を踏まえた 北高跡地を会場とした実践型ワーク ショップを継続して実施し、能代北高跡 地の利活用案を検討する。また、ワーク ショップの概要やその成果等を多様な手 法を用いて広報する。	「令和3年度能代北高跡地利活用可能性 検討業務」において、実施したワーク ショップで提示された利活用のアイデア を基にした5つの実証実験プロジェクト案 などの成果を踏まえ、令和4年度から引き 続き北高跡地を会場とした実践型ワーク ショップを立案・実施し、北高跡地の利活 用の可能性を実証的に検証することを目 的とする。	対話型ワークショップおよび実証型ワー クショップを3回行い、本事業において秋 田公立美術大学が示す「思考継続型プロ ジェクト」に関する意見を収集する。 ワークショップの成果を踏まえ、北高跡地 の利活用方策をまとめ、思考継続型プロ ジェクトの実施に関する課題を抽出す る。 ワークショップの実施内容をまとめた広報 資料を作成し、ニューズレターやウェブサ イトを通じて発信する。	小杉栄次郎、 井上宗則、 石渡雄士	能代市	-	2	1	3	-
	秋田 公立 美術 大学	地域 連携	浦上コレクション 北斎漫画展	-	2023/4/1 ～ 2023/4/28	秋田公立美術 大学	7月9日～9月10日、秋田県立美術館にて 開催される「浦上コレクション 北斎漫画」 展の広報に用いられるポスター・フライ ヤー・バナー等のビジュアルデザインの ベースとなるポスターデザインの制作1点	「浦上コレクション 北斎漫画展」を秋田 で開催するにあたり、北斎漫画作品を活 かしたポスタービジュアルを制作するこ とで、展覧会への関心を高め、来場者向 上に寄与することを目的とする。	北斎漫画作品の使用方法に関する制約 の少なさを活かし、北斎漫画のおもしろさ を伝えるデザイン制作を行う。秋田公立 美術大学学生の制作への関与を学内にも 広め、学生の観覧数を増やす。	水田圭、 今中隆介	株式会社秋田 魁新報社	-	-	-	-	-
② 地域産 業と連携 した産業 創出や芸 術を通じ た技術支 援を行う 事業	秋田 公立 美術 大学	地域 連携	地域連携	-	2023/4/1 ～ 2024/3/31	-	秋田公立美術大学の多様な専門性と マッチングし、課題解決や付加価値の創 出を後押しする事業の企画制作に向け た「シーズ」の調査・収集を行う。	地域の課題やリソース等について調査や 相談対応を行い、教員や学生との効果 的なマッチングを通じて「市のまちづく りや、地域の課題解決のシンクタンクとし ての機能」の発揮に貢献する。	美大に対する相談をヒアリングし、適性を もった教員や学生とのマッチングをはか る。	-	-	-	-	-	-	-
	大学 受託	地域 連携	能代街なか資源 再活用プログラ ム開発研究(共 同研究)	-	2023/4/1 ～ 2024/3/31	能代市内・秋 田公立美術大 学	主にこれまで研究において把握した課題 (「持続的な施設のあり方」「権利関係の 明確化」「高校生への効果的な広報」「空 間への入りやすさ」「管理運営体制の構 築」「施設の充実」「土地のコンテクストの 把握」)の解決に向けた検討を進める。 具体的には、①旧鴻文堂の運用、②新 たな施設整備の可能性、③新規施設や 既存施設との連携方法の実証的な検討 を通して、高校生の居場所の創出に有 効な手法の確立を目指す。	本研究は、能代市中心市街地の空き店 舗・空き家・空きスペースを、これからの 地域活動を活性化する資源として捉え、 実証実験を通した研究によってその活用 可能性を探るものである。具体的には、 中心市街地に位置するかつて書店で あった「旧鴻文堂」を拠点に、①高校生 の居場所の創出と②中心市街地活性化 の取組における再生可能エネルギーの 情報発信拠点の「在り方」の検討、を 目的とする。2022年10月に『PROJECT KOBUNDO』として開設した旧鴻文堂 は、2023年3月までに延べ100人を超える 高校生の利用があった。本研究では、長 期的な視点に立った中心市街地の活性 化に寄与することを念頭に、旧鴻文堂の さらなる利用促進とその成果の展開可 能性について検討を行う。	利用者に利活用内容を委ねる多目的利 用が可能なスペースの空間的なあり方を 検証するとともに、地域でのスペース展 開について検討する	-	-	-	1	3	2	-
	大学 受託		新規受託事業	新規受託事業 (共通)	2023/4/1 ～ 2024/3/31	-	秋田公立美術大学を地域とつなぎ、大学 の研究・教育成果の地域還元をはかる事 業を企画制作する。	秋田公立美術大学を地域とつなぎ、大学 の研究・教育成果の地域還元をはかる事 業を企画制作する。		-	-	-	-	-	-	-
		単独 受託	地域 連携	秋田ブライウッド 製合板を使用し た応接室家具の 提案・製作	-	2023/8/19 ～ 2024/3/22	秋田ブライウッ ド株式会社	工場内での発電用燃料チップとして活用 されている合板耳(端材)を再度製品材 料として用い、大気への二酸化炭素の排 出削減を企図した家具の製作ならびに 応接室用家具の提案を実施する。	秋田ブライウッド社旧社員寮を改装した 応接室が設置されるにあたり、秋田ブ ライウッド社製の合板を活用した家具の提 案および製作を目的とする。		今中隆介	-	-	-	-	-

2023年度 事業報告書一覧(概要・実績等)

定款	財源	分野	プログラム名	プロジェクト名	事業期間 (開始) ～ 事業期間 (終了)	主たる会場	事業概要	目的	目標	協力教員	協力者・機関	参加者数 (総数)	報道件数	PR実績 (配信数)	ウェブ実績 (掲載数)	SNS実績 (投稿数)			
③ 秋田公立美術大学が関わる芸術活動等の情報発信に関する事業	秋田公立美術大学	教育	BIYONG POINT	-	2023/4/1 ～ 2024/3/31	-	秋田ケーブルテレビ(CNA)社屋にあるギャラリースペース「BIYONG POINT」において、年間4本程度の展覧会を企画運営する。 主に秋田公立美術大学に所属する学生の展覧会を企画し、設営および作品制作・作品撮影・広報・レビューなどへの支援を行う。 また、展覧会以外の期間を活用して、BIYONG POINTのアーカイブ展示を行う。	教育・研究機関である秋田公立美術大学が有するギャラリーとして、「現代美術の発信」、「複合芸術の実践」、「人材育成のプラットフォーム」という2018年度にワーキンググループで作成した方針の実践を進める。	「現代美術の発信」、「複合芸術の実践」、「人材育成のプラットフォーム」を実践する学内の事業を掘起し、秋田公立美術大学関係の利用を積極的に促す。	岩井(山本展、宮本展、岡本展) 藤(佐藤展) 萩原(岡本展、飯島展) 福住(飯島展) 曾根(山本展、岡本展) 井上宗則(飯島展)	株式会社秋田ケーブルテレビ	-	11	6	17	57			
				④ 展覧会や子どもを含む市民向け講座を通じた芸術の	広報	サテライトセンター企画展	-	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田公立美術大学サテライトセンター	秋田公立美術大学の広報拠点であるサテライトセンターの維持管理と、スペースを活用した各種事業を実施し、市民・県民の秋田公立美術大学に対する認知向上と理解促進を図る。	秋田公立美術大学の広報拠点であるサテライトセンターの維持管理と、スペースを活用した各種事業を実施し、市民・県民の秋田公立美術大学に対する認知向上と理解促進を図る。	サテライトセンターが安全に運営されるよう施設の維持管理を図り、各種事業を実施するための基盤を整備することで、来場者の安定確保等を実現する。	-	-	-	-	-	-	
							サテライト企画展 共通	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田公立美術大学サテライトセンター	秋田公立美術大学サテライトセンターのギャラリーおよび情報発信コーナーを活用し、秋田公立美術大学の教育・研究成果を発表する展覧会を企画・制作する。	秋田公立美術大学の地域との連携に係る取組みを紹介する展覧会や、「美術」について関心を喚起し将来の担い手を掘り起こすための展覧会等を企画し、実施する。	秋田公立美術大学の多様な取り組みを紹介する展示を企画・開催する。また、幅広い世代が展覧会に足を運ぶよう展覧会情報の発信を、多様な媒体を活用して行う。	-	工藤夏鈴	-	-	-	-	-
							卒業生シリーズ Vol.11	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田公立美術大学サテライトセンター	卒業生シリーズVol.11は、コミュニケーションデザイン専攻を2020年に卒業し、大阪のゲーム会社に勤めながら空想生物(クリーチャー)を描き続けているアーティスト・工藤夏鈴を特集する「空想生物クリーチャーを描く」を開催する。情報発信コーナーでは工藤自身が登場するブラチナゲームズ株式会社の採用ムービーを放映し、秋美卒業生の進路として広報する。	秋田公立美術大学の地域との連携に係る取組みを紹介する展覧会や、「美術」について関心を喚起し将来の担い手を掘り起こすための展覧会等を企画し、実施する。	秋田公立美術大学の多様な取り組みを紹介する展示を企画・開催する。また、幅広い世代が展覧会に足を運ぶよう展覧会情報の発信を、多様な媒体を活用して行う。	井上豪	ブラチナゲームズ株式会社(大阪府大阪市)、秋美生物部	-	2	1	1	2
							卒業生シリーズ Vol.12	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田公立美術大学サテライトセンター	卒業生シリーズVol.12は2022年大学院修了の安村卓土さんを集める。大学院修了後も秋田市に拠点を置き活動を続けている。	秋田公立美術大学の地域との連携に係る取組みを紹介する展覧会や、「美術」について関心を喚起し将来の担い手を掘り起こすための展覧会等を企画し、実施する。	秋田公立美術大学の多様な取り組みを紹介する展示を企画・開催する。また、幅広い世代が展覧会に足を運ぶよう展覧会情報の発信を、多様な媒体を活用して行う。	藤浩志	-	1,036	1	1	2	-
							アニメーション展	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田公立美術大学サテライトセンター、秋田公立美術大学ギャラリー BIYONG POINT、TDK歴史みらい館(にかほ市)	秋田公立美術大学10周年記念展(2023年7月6日～8月7日、秋田市文化創造館)に合わせ、秋田公立美術大学サテライトセンターと秋田公立美術大学ギャラリー-BIYONG POINTを会場にアニメーション映像祭「Now Playing」を開催する。	秋田公立美術大学の地域との連携に係る取組みを紹介する展覧会や、「美術」について関心を喚起し将来の担い手を掘り起こすための展覧会等を企画し、実施する。	秋田公立美術大学の多様な取り組みを紹介する展示を企画・開催する。また、幅広い世代が展覧会に足を運ぶよう展覧会情報の発信を、多様な媒体を活用して行う。	-	TDK歴史みらい館、CNA秋田ケーブルテレビ、インター・カレッジ・アニメーション・フェスティバル実行委員会、株式会社ゼロニウム	2,114 (アニメWS:41、サテライト:1,034、BIYONG POINT:芳名帳42、TDK歴史みらい館:997)	3	1	6	6
							工房 雑がみランド2023	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田公立美術大学サテライトセンター	雑がみを活用した工作ワークショップおよび展示事業。	秋田公立美術大学の地域との連携に係る取組みを紹介する展覧会や、「美術」について関心を喚起し将来の担い手を掘り起こすための展覧会等を企画し、実施する。	秋田公立美術大学の多様な取り組みを紹介する展示を企画・開催する。また、幅広い世代が展覧会に足を運ぶよう展覧会情報の発信を、多様な媒体を活用して行う。	-	-	602	2	1	1	-
AKIBI ARTS MARKET 2024	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田公立美術大学サテライトセンター	AKIBI ARTs MARKET2024は、秋美生の作品を鑑賞・購入・所有することを通して、アートやデザインをより身近に感じてもらうことを目的とした事業。 秋田公立美術大学サテライトセンターを会場に学生の作品を学年・作品のジャンルを問わず販売する企画。学生は参加費無料とし、売り上げは直接学生の元へ入る仕組みとして作品に対する責任や販売することを体験する機会とする。	秋田公立美術大学の地域との連携に係る取組みを紹介する展覧会や、「美術」について関心を喚起し将来の担い手を掘り起こすための展覧会等を企画し、実施する。	秋田公立美術大学の多様な取り組みを紹介する展示を企画・開催する。また、幅広い世代が展覧会に足を運ぶよう展覧会情報の発信を、多様な媒体を活用して行う。	-	-	1,435 (ギャラリー:752、情報発信コーナー:683)	4	1	2	-							

2023年度 事業報告書一覧(概要・実績等)

定款	財源	分野	プログラム名	プロジェクト名	事業期間 (開始) ～ 事業期間 (終了)	主たる会場	事業概要	目的	目標	協力教員	協力者・機関	参加者数 (総数)	報道件数	PR実績 (配信数)	ウェブ実績 (掲載数)	SNS実績 (投稿数)
				卒業生シリーズ Vol.10(前年繰 越)	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田公立美術 大学サテライト センター	卒業生シリーズVol.10では、景観デザイン専攻を2019年に卒業した折出裕也を特集する。山梨県小菅村に移住してタイニーハウスで暮らし、小さな空間をテーマにアートワークをおこなう折出が小さな住居をトラックで運んで秋田に移動し、寄生し、接続して集落をつくる。身のまわりにある素材を使い、小さな点からはじまったパレルな集落をギャラリーに展開する。	秋田公立美術大学の地域との連携に係る取組みを紹介する展覧会や、「美術」について関心を喚起し将来の担い手を掘り起こすための展覧会等を企画し、実施する。	秋田公立美術大学の多様な取り組みを紹介する展示を企画・開催する。 また、幅広い世代が展覧会に足を運ぶよう展覧会情報の発信を、多様な媒体を活用して行う。	岸健太	-	1,345	2	1	1	4
	秋田公立美術大学	教育	クリエイトブラ ボー	-	2023/4/1 ～ 2024/3/31	-	美大の教員・助手とともに、主にローティーンを対象としたアートワークショップのプログラムを企画し、実施する。	美大の教員・助手とともに、地域と連携しながら学校教育下の美術教育とは異なる創造力を高める新たなこども向けワークショッププログラムを開発・実践し、美術に関心をもつ人を増やす。	美大の教員・助手とともに、11-15歳を対象としたアートワークショップのプログラムを企画し、実施する。今年度は同様のワークショップなどがあまり行われていない年齢をターゲットにすることから、次年度以降に繋げていくためのリサーチも兼ね、この年代にアプローチを行っていくベースを作る。	-	-	33	0	0	8	75
	単独受託		あきたなつかし れとろ博覧会	-	2023/8/1 ～ 2023/10/31	秋田市文化創造館	秋田市観光振興課「なつかし資料等活用業務委託」を受託する株式会社せんととの連携により、油谷これくしょんの一部を活用し、秋田市文化創造館を会場にした企画展を制作する。 ▼なつかし資料等活用業務委託 https://www.city.akita.lg.jp/jigyosha/sonota-nyusatsu-keiyaku/1038146.html			尾花賢一	-	999 (展覧会鑑賞者数/9:00～17:00のみ計測)	-	-	1	1
⑤ 秋田公立美術大学の地域連携や社会貢献、広報活動等の支援	秋田公立美術大学	広報	企画展「美大10年」関連イベント企画制作	-	2023/4/1 ～ 2023/10/31	秋田市文化創造館	秋田公立美術大学10周年記念企画展「美大10年」の関連イベントを企画・制作する。	秋田公立美術大学の研究・教育活動について、市民・県民の理解を促す。		-	秋田公立美術工芸短期大学、秋田公立美術大学同窓会	-	-	-	-	-
	秋田公立美術大学	広報	全国高校生何でも、アリ。 Creative Award	全国高校生何でも、アリ。 Creative Award 2023	2022/12/1 ～ 2023/2/28	-	全国の高校生を対象に、高校生自身が主体的に取り組んでいる活動を動画で公募する。 活動規模、ジャンル、これまでの評価や成果を問わず、応募された活動への高校生自身の欲求や衝動を活動に変えようとする主体性を軸に評価する。 一次審査を通過した応募者は、審査員と応募者全員との交流会に参加し、そこでのやりとりを経て最終審査を行う。 最終審査にて金・銀・銅を選考し、活動資金として賞金と副賞を贈る。また、協賛企業賞は協賛企業により選考し、各企業から賞状・賞品を提供いただく。 応募された活動動画(3分以内)は、著作権・肖像権の侵害がない限り、全て公式WebサイトおよびYouTube等にて公開し、アーカイブする。	全国の高校生及び高校関係者、美術関係者を対象に、秋田公立美術大学の特徴である「主体的な取組みを評価する」大学であることの認知が広まる。	全国の高校生及び高校関係者、美術関係者を対象に、秋田公立美術大学の「主体的な取組みを評価する」公募事業に関する広報物を制作し、高校生の内発的動機付けから生じる活動の募集として全国の高校や高校生の活動支援団体等へ周知する。 応募者に対しては、高校生自身の「主体的な取組みを評価する」秋田公立美術大学の特徴が伝わるような機会を設け、審査員をはじめとする事業関係者や応募者相互の交流により自らの興味・関心を広げるための機会を提供する。	柚木恵介 (審査員長)	審査員:田中偉一郎、杉浦由梨、永沢碧衣、原田祐馬 協賛:JR秋田支社地域活性化室、JA全農あきたパールライス課、秋田魁新報社 広報デザイン:岡室健 ウェブデザイン:HAUS	176	1	2	4	320 (ACAFB:2、公式FB:47、insta:217、X:54)
	秋田公立美術大学	広報	大学広報	-	2023/4/1 ～ 2024/3/31	-	アーツセンターあきたが関わる事業情報をまとめ、広報あきたへの掲載やプレスリリースの配信、大学事務局と連携した各種広報媒体への掲載やマスコミによる取材促進に努める。	アーツセンターあきたが関わる秋田公立美術大学の各種地域連携の取組みの露出機会を継続的に確保し、特に秋田県内と美術関係者を中心に大学の認知度や活動の理解促進を図る。	地域の専門家の評価向上(年末の魁新報文化欄総括での言及等)や専門メディアへの情報掲載を目指す。	-	-	-	32	20	118	-
				大学案内制作 2024-2025	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田公立美術大学	主に受験広報に活用する素材として大学案内を制作、印刷納品する。	秋田公立美術大学の取組みをPRする媒体を制作し、潜在的な受験者の掘起しを図る。	広報委員会と連携し、秋田公立美術大学の強み・売りと受験生が必要とする情報を効果的に盛り込んだ媒体を制作し、適時に納品する。	広報委員会	-	-	-	-	-	-

2023年度 事業報告書一覧(概要・実績等)

定款	財源	分野	プログラム名	プロジェクト名	事業期間 (開始) ～ 事業期間 (終了)	主たる会場	事業概要	目的	目標	協力教員	協力者・機関	参加者数 (総数)	報道件数	PR実績 (配信数)	ウェブ実績 (掲載数)	SNS実績 (投稿数)	
	単独 受託	地域連 携	あそび×まなび のひろば“自然 と芸術体験”事 業	-	2023/4/1 ～ 2024/3/31	-	これまで大森山アートプロジェクトの一環 として実施してきた、大森山公園を会場と した学生作品中心の展覧会「あそび×ま なびのひろば」について、秋田県の森づ くり県民事業にて大学主催で実施するこ ととなった。 タイトルを「あそび×まなびのひろば vol.5 -自由/freedom」とし、会場の特性 を活かし、自然素材を用いた作品、空間 制作を行い、会期約1ヶ月の展覧会を開 催する。広報物、現地サインなどの制作 や、開催期間中は学生が会場メンテナ ンスを行い、運営にも関わる。秋田公立美 術大学の授業「地域プロジェクト演習」と して実施。	この事業において、大森山公園のグリー ン広場の森林を介して、主に小学校の子 ども達と親を対象に、自然体験と芸術体 験が出来るワークショップ、遊具、造形物 から、遊べて学べるイベントを開催し身近 な森林環境の理解を目指します。		村山修二郎	大森山動物園	165	-	-	-	1	-
	単独 受託	地域 連携	松峰園・介護施 設浴室における 絵画制作事業	-	2023/7/6 ～ 2024/2/29	秋田公立美術 大学、能代市 介護施設(ケ アビレッジ 燦々デイサー ビスセンター、 デイサービス センター 清風 のしろ)	介護施設浴室壁面に飾る絵画の制作、 設置作業を実施する。	介護施設浴室壁面に飾る絵画を制作 し、施設利用者に入浴時の安らぎを提供 するとともに、利用者同士や施設職員と のコミュニケーションのきっかけを作る事 を目的とする。	介護施設の浴室壁面へ富士山を題材と した絵画を飾り、景色を擬似的に体験で きることに、利用者の高齢者にとって 施設での入浴が楽しいもの、安らぎにつ ながるものだという認識を深めてもらう。 絵画が施設職員とのコミュニケーションの きっかけとなり、円滑な利用者の入浴に 繋げる。	坂本憲信	株式会社松峰 園、池端咲紀 さん(制作者・ CD3年)	3	2	1	-	-	
⑥ 芸術に 関する技 術指導に 関する事 業	秋田 公立 美術 大学	教育	デッサンスクー ル	-	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田公立美術 大学サテライト センター	中高生を対象にしたデッサンスクールを 開講し、秋田公立美術大学の志望者・受 験者の堀越しとスキルアップを図る。 鉛筆の卓上デッサンを主とした、静物 デッサン、構成デッサンの基礎を学ぶ講 座です。秋田公立美術大学サテライトセ ンターデッサンルームを会場に、美術系 学校への進学を目指す方のデッサン力 (描写力、集中力、表現力、構成力)の向 上を目指す。	「美術」の担い手を育成を見据え、デッサ ン指導を行うスクールを開講し、秋田公 立美術大学入学者の掘起しと潜在的入 学者のスキルアップ支援を行う。	受講者の中から秋田公立美術大学への 合格者や進学希望者を輩出する。	-	-	106 (定員総 数120、 申込総 数114、 欠席8)	0	1	-	2	-
	秋田 公立 美術 大学	教育	素描Lab	-	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田公立美術 大学サテライト センター	中高生を対象にした素描を自習方式で 学ぶ会員制のスペースを設置・開放し、 秋田公立美術大学の志望者・受験者の 掘起しとスキルアップを図る。 素描Labは、デッサン初心者から経験者 まで自由にデッサンを学ぶ会員制の共 同アトリエです。秋田公立美術大学サテ ライトセンターのデッサンルームを開放 し、自習サポートや特別講師による合評 会を通じて、デッサン力の向上を支援し ます。	「美術」の担い手を育成を見据え、素描 の自習や合評を通じた指導を行うスクー ルを開講し、秋田公立美術大学入学者 の掘起しと潜在的入学者のスキルアップ 支援を行う。	受講者の中から秋田公立美術大学への 合格者や進学希望者を輩出する。	藤浩志、美術 教育センター 助手日野沙 耶、美術教育 センター助手 竹本悠太郎、 AR助手 中田 日菜子、	-	4月～3 月の総 会員数 延123 (4月6、 5月6、 6月8、 7月11、 8月10、 9月11、 10月12、 11月14、 12月14、 1月13、 2月11、 3月7)	-	-	-	-	-
⑦芸術作 品等の流 通・販売に 関する事 業	自主 事業		出版事業	卒業生シリーズ 図録	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田公立美術 大学サテライト センター	秋田公立美術大学サテライトセンターで 開催する卒業生シリーズ企画展11回分 の記録をまとめ、図録として出版する。	法人が取組む事業の成果をアーカイブ し、広く発信する。		-	秋田公立美術 大学	-	-	-	-	-	-
				図録「200年をた がやす」	2023/4/1 ～ 2024/3/31	-	展覧会「200年をたがやす」の記録として 発行した図録「200年をたがやす」の販売 を行う。	法人が取組む事業の成果をアーカイブ し、広く発信する。		-	-	-	-	-	-	-	-
				油谷満夫インタ ビュー集	2023/4/1 ～ 2024/3/31	-	秋田を代表する蒐集家・油谷満夫のイン タビュー記録やコレクションする民具をま とめた書籍を出版する。	法人が取組む事業の成果をアーカイブ し、広く発信する。		-	服部浩之、油 谷満夫、NPO 法人油谷これ くしょん	-	-	-	-	-	-

2023年度 事業報告書一覧(概要・実績等)

定款	財源	分野	プログラム名	プロジェクト名	事業期間 (開始) ～ 事業期間 (終了)	主たる会場	事業概要	目的	目標	協力教員	協力者・機関	参加者数 (総数)	報道件数	PR実績 (配信数)	ウェブ実績 (掲載数)	SNS実績 (投稿数)
	自主 事業		NFTアート検討 事業	-	2023/12/1 ～ 2024/3/31	秋田公立美術 大学	秋田市・KDDI株式会社、秋田公立美術 大学の3者が連携して取り組む「秋田市 ふるさと納税の美大生NFTアート返礼品 提供事業」について、試験的な運用を目 指し、仕組み整備や勉強会の企画制作 を行う。	秋田公立美術大学の学生らの新たな出 口戦略として、NFTを活用した事業を展 開し、大学のブランディングを強化する。	4月からの運用に向けた仕組み整備がで きている。	-	-	17	0	0	0	0
⑧公共施 設等の管 理・運営事 業	秋田 市文化創 造館	指定 管理	文化管理共通	文化管理運営 (共通)	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田市文化創 造館	来館者・利用者に安心安全に施設を利用 いただくために、文化創造館の日常運 営と維持管理に係る日常業務を安定的 に実施する。	施設の安全管理運営を行い、来館者・ 利用者に安心安全に施設を利用いただ く。	事件・事故による被害を最小限に抑え、 来館者及び利用者が安全に施設を利用 できるよう、日常業務や職員研修等を通 じた運営体制の強化を図る。	-	-	-	-	-	-	-
				文化管理人件費	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田市文化創 造館	来館者・利用者に安心安全に施設を利用 いただくために、秋田市文化創造館の 運営を安定的に実施するための人員を 配置する。	施設の安全管理運営を行い、来館者・ 利用者に安心安全に施設を利用いただ く。	事件・事故による被害を最小限に抑え、 来館者及び利用者が安全に施設を利用 できるよう、日常業務や職員研修等を通 じた運営体制の強化を図る。	-	-	-	-	-	-	-
				文化管理運営 (事業評価)	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田市文化創 造館	秋田市文化創造館の成果を専門家ととも に検証、見える化(ウェブサイト等で公開 を想定)し、館の取組みの理解促進につ なげる。	施設の安全管理運営を行い、来館者・ 利用者に安心安全に施設を利用いただ く。	事件・事故による被害を最小限に抑え、 来館者及び利用者が安全に施設を利用 できるよう、日常業務や職員研修等を通 じた運営体制の強化を図る。	-	-	-	1	-	1	-
				文化管理運営 (研修)	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田市文化創 造館	施設利用者や各種の相談を目的とした 来館者の満足度を高めるために、スタッ フが施設や設備・備品に習熟し、関連す る情報提供やリソースとのマッチングと いったコーディネート業務をより効果 的に進められるような研修や情報収集・ 調査を実施する。	施設の安全管理運営を行い、来館者・ 利用者に安心安全に施設を利用いただ く。	事件・事故による被害を最小限に抑え、 来館者及び利用者が安全に施設を利用 できるよう、日常業務や職員研修等を通 じた運営体制の強化を図る。	-	-	-	-	-	-	-
				文化管理運営 (施設広報)	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田市文化創 造館	施設の利用促進を図るために、屋外壁 面のバナー活用等の施設広報に係る活 動を行う。	施設の安全管理運営を行い、来館者・ 利用者に安心安全に施設を利用いただ く。 施設利用に関しては、利用者の満足度 向上は秋田市文化創造館らしさを表す 施設利用の発掘・利用促進を図る。	事件・事故による被害を最小限に抑え、 来館者及び利用者が安全に施設を利用 できるよう、日常業務や職員研修等を通 じた運営体制の強化を図る。	-	-	-	4	1	-	-
				文化管理運営 (視察・取材対 応)	2023/4/1 ～ 2023/4/31	秋田市文化創 造館	施設広報の一環として、県内外からの視 察や取材依頼に積極的に対応する。	施設の安全管理運営を行い、来館者・ 利用者に安心安全に施設を利用いただ く。 施設利用に関しては、利用者の満足度 向上は秋田市文化創造館らしさを表す 施設利用の発掘・利用促進を図る。	事件・事故による被害を最小限に抑え、 来館者及び利用者が安全に施設を利用 できるよう、日常業務や職員研修等を通 じた運営体制の強化を図る。	-	-	-	-	-	-	-
				文化施設維持管 理(業務委託費)	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田市文化創 造館	施設利用者の利便性向上と、安全で快 適な空間の提供を担保するために、費用 対効果に留意しつつ、設備や機材の維 持及び保守管理、芝生・植栽のメンテナ ンス等の物件の管理を行う。	施設の安全管理運営を行い、来館者・ 利用者に安心安全に施設を利用いただ く。	事件・事故による被害を最小限に抑え、 来館者及び利用者が安全に施設を利用 できるよう、日常業務や職員研修等を通 じた運営体制の強化を図る。	-	-	-	-	-	-	-
				文化施設維持管 理(光熱水費)	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田市文化創 造館		施設の安全管理運営を行い、来館者・ 利用者に安心安全に施設を利用いただ く。	事件・事故による被害を最小限に抑え、 来館者及び利用者が安全に施設を利用 できるよう、日常業務や職員研修等を通 じた運営体制の強化を図る。	-	-	-	-	-	-	-
				文化消耗品	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田市文化創 造館	施設の安全管理運営を行うために必要 な、事務用品、衛生用品等を効率的 に調達する。	施設の安全管理運営を行い、来館者・ 利用者に安心安全に施設を利用いただ く。	事件・事故による被害を最小限に抑え、 来館者及び利用者が安全に施設を利用 できるよう、日常業務や職員研修等を通 じた運営体制の強化を図る。	-	-	-	-	-	-	-

2023年度 事業報告書一覧(概要・実績等)

定款	財源	分野	プログラム名	プロジェクト名	事業期間 (開始) ～ 事業期間 (終了)	主たる会場	事業概要	目的	目標	協力教員	協力者・機関	参加者数 (総数)	報道件数	PR実績 (配信数)	ウェブ実績 (掲載数)	SNS実績 (投稿数)
		空間の提供	フリースペース活用	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田市文化創造館コミュニティスペース・デッキ・屋外エリア	コミュニティスペース・デッキ・屋外エリアを中心に館内外のフリースペースの活用を図り、イベント等が行われている時だけでなく、市民が日常的に利用できる空間を提供する。 また、秋田市文化創造館についてをPRするための市民への無料解放デイとして、市民や利用者と一緒につくる「フリー・オープン・デイ」を開催。大型連休や館の周年事業、また近隣の催しに応じて柔軟に実施運営をおこなう。	魅力的な建築空間を活かし、すべての人に開かれた環境を日常的に提供する	多様な人が繰り返し訪れ、それぞれに館を活用する積極的態度を高める	-	-	-	-	-	-	-	-
			事業パートナーとの連携	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田市文化創造館	スパイラルエーを事業パートナーとし、来館動機を高める魅力的な出店内容、事業等と関連した特別メニューの開発、「千秋ノ市」などオリジナリティのあるイベントを共同開催する。	魅力的な建築空間を活かし、すべての人に開かれた環境を日常的に提供する	多様な人が繰り返し訪れ、それぞれに館を活用する積極的態度を高める	-	-	-	-	-	-	-	-
		機会の提供	ラーニングプログラム「未来の生活を考えるスクール」	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田市文化創造館	秋田市民を対象に、既存のジャンルを超えた領域で活動する人を招いたトークイベント・上映会・ワークショップ等を開催する。	背景や価値観の異なる人が交流し、創造力を養う出会いの機会をつくる	来館者の興味関心・視野・ネットワークを広げ、文化芸術への積極的態度を高める	-	-	195	3	5	9	-	
			コミュニケーションプログラム「カタルバー」	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田市文化創造館敷地内	秋田市文化創造館のスタッフが店主となり、施設利用者がラフに話を聞く・話すことのできる場としての設定。主体性のある施設利用者を1日店主としてやってみたいことを小さくやってみる試験的な場としてもプログラムを開く。毎月5のつく日を主な開催日とし、希望があり次第随時追加で開催する。	秋田市文化創造館や中心市街地を舞台に実施される市民活動を促す	来館者の興味関心・視野・ネットワークを広げ、文化芸術への積極的態度を高める	-	-	カタルバー：件数104、店主人数113(リピーター含む)、参加者人数683 ※3月9日現在出張カタルバー：件数4、参加者数23	1	0	12	167	
		創造支援	企画の共催・支援	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田市文化創造館	秋田市文化創造館の設置目的に沿う活動や事業について、一定の審査を経て、共催および活動支援事業と認定。施設および設備使用料の負担、広報協力、コーディネーターによるサポート等を行う。 このことにより、秋田市文化創造館の認知度アップが図れること、市民による創造的活動が活発化することを期待する。	市民やクリエイターのアイデアの実現や情報発信をサポートし、創造力を発揮する活動を支援する	新たな活動の企画運営に対する意欲や積極性が高まり、多様な企画が生まれる機運をつくる	-	-	-	-	-	-	-	-
			コンシェルジュサービス	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田市文化創造館	・来館者の利便性向上や利活用促進のための各種案内業務、および創造的活動の支援を目的とした相談業務 ・職員の技術向上も兼ねたテクニカル勉強会の開催	背景や価値観の異なる人が交流し、創造力を養う出会いの機会をつくる	来館者の興味関心・視野・ネットワークを広げ、文化芸術への積極的態度を高める	-	-	-	-	-	-	-	-
		創造実験	キュレーション企画	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田市文化創造館	秋田市文化創造館コーディネーター・ディレクターが独自に選考した専門家を招聘し、創造実験事業を推進するためのリサーチ・勉強会・実験などを市民に公開しながら行う。	来館者の創造力を刺激する実験的な事業を行う	地域や社会に対する新たな視点を提供し、創造的な活動が生まれる機運をつくる	-	-	-	1	2	7	-	
		文化地域連携	中心市街地の団体・施設等の連携	2023/4/21 ～ 2024/3/3	秋田市文化創造館	芸術文化ゾーン内の各文化施設・商業施設との連携を進めるために、活用研究会に出席するなど、情報交換とネットワーク形成を図る。	近隣の歴史・文化施設、商業施設、他分野の事業と連携し、創造力を秋田のまちにひろげる	地域が連携して情報交換やイベント等を行う機会を増やし、相互に理解を深め、誘客を行う	-	-	-	-	-	-	-	-
			地域イベント	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田市文化創造館	ミルハスや図書館など、中心市街地等の施設、団体と連携してイベント等の共同開催の方法を模索し、にぎわい創出や、優れた企画実現など、相乗効果の高い企画を実施する。	ミルハスや図書館など、中心市街地等の施設、団体と連携してイベント等の共同開催の方法を模索する	地域が連携してイベント等を行う機会を増やし、相互に理解を深め、誘客を行う	-	-	-	-	-	-	-	-

2023年度 事業報告書一覧(概要・実績等)

定款	財源	分野	プログラム名	プロジェクト名	事業期間 (開始) ～ 事業期間 (終了)	主たる会場	事業概要	目的	目標	協力教員	協力者・機関	参加者数 (総数)	報道件数	PR実績 (配信数)	ウェブ実績 (掲載数)	SNS実績 (投稿数)
			情報発信・アーカイブ	ウェブサイト	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田市文化創造館	事業の告知やレポート等をウェブサイトに掲載する。	秋田市文化創造館の活動の過程と成果を発信し、アーカイブする	秋田市文化創造館の活動内容を秋田市内外・全国各地で文化創造を試みる人たちと情報共有する	-	-	-	-	-	14	-
				情報紙・アニュアルレポート	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田市文化創造館	館内外で行われている活動の内容や、スケジュールを伝える広報印刷物を制作し、市内・県内を中心に配布する。	秋田市文化創造館の活動の過程と成果を発信し、アーカイブする	秋田市文化創造館の活動内容を秋田市内外・全国各地で文化創造を試みる人たちと情報共有する	-	-	-	-	-	-	-
				SNS・館内の情報発信	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田市文化創造館	秋田市文化創造館についての情報をタイムリーに発信する媒体として、プレスリリースを適宜各所へ送り、広報あきた等を活用して市民へ広く活動を周知する。また、SNS (Instagram、Twitter等) 等を活用して、情報拡散に努める。	施設や事業に関わるニュースで特に重要度の高いものを、プレスリリースとして秋田県内外のメディアに配信し、情報の拡散と認知度向上を図る。	秋田市文化創造館の活動内容を秋田市内外・全国各地で文化創造を試みる人たちと情報共有する。	-	-	-	89	18	-	-
				記録	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田市文化創造館	事業について写真・映像・テキストで記録・保存する。	秋田市文化創造館の活動の過程と成果を発信し、アーカイブする。	秋田市文化創造館の活動内容を秋田市内外・全国各地で文化創造を試みる人たちと情報共有する。	-	-	-	-	-	-	-
				「やまは蔵、まちの原木、ケズリカケの木々」記録集の販売	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田市文化創造館	秋田市文化創造館の指定管理事業クリエイター・イン・レジデンス2022 臼井仁美の展覧会「やまは蔵、まちの原木、ケズリカケの木々」の記録集を館内ショップコーナーや市内店舗等で販売する。	秋田市文化創造館の活動の過程と成果を発信し、アーカイブする。	秋田市文化創造館の活動内容を秋田市内外・全国各地で文化創造を試みる人たちと情報共有する。	-	-	-	-	-	1	-
⑨その他 目的を達成するために必要な事業	自主事業	広報	法人広報	法人広報共通	2023/4/1 ～ 2024/3/31	-	法人が取組む事業をウェブやSNS、印刷物等を通じて広く周知し、法人の価値の向上を図る。	法人が取組む事業を広く周知し、法人価値の向上を図る		-	-	-	-	-	-	-
				ウェブコンテンツ作成	2023/10/1 ～ 2024/3/31	-	インタビューやコラム等のウェブサイトのコンテンツを充実させることで、閲覧者数の増加を図り、アーツセンターあきたの活動への理解を促進する。	法人が取組む事業を広く周知し、法人価値の向上を図る	ウェブサイトの閲覧者数の増加を図る	-	-	-	-	-	118	-
				秋田県立近代美術館「みんなのキンビプロジェクト」への協力	2023/10/1 ～ 2024/3/31	秋田県立近代美術館	秋田県立近代美術館「みんなのキンビプロジェクト」実行委員会に参画し、同プロジェクトが主導する「障害者の生涯学習」の促進に貢献する。	秋田県立近代美術館「みんなのキンビプロジェクト」実行委員会に参画し、同プロジェクトが主導する「障害者の生涯学習」の促進に貢献する	当法人の参画を通じて、同プロジェクトの県内外の認知度の向上を図る	藤浩志、安藤郁子、柚木恵介	秋田県立近代美術館	-	-	-	3	2
				BIYONG POINT 宮本一行 個展「雪面の歩行 Walk on the Snow Field 」への協力	2023/9/1 ～ 2023/12/31	BIYONG POINT	秋田公立美術大学ギャラリーBIYONG POINTを会場に、秋田公立美術大学博士課程後期に在籍する宮本一行による個展の開催支援を行う。	秋田公立美術大学ギャラリーBIYONG POINTの活用	BIYONG POINTを活用した多様な展覧会を制作することで、ギャラリーの認知を高め、集客力を強化する	岩井成昭、山川冬樹	CNA秋田ケーブルテレビ	115	1	1	2	-
	大学受託	地域連携	新屋歩道橋色彩計画	-	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田公立美術大学、新屋横断歩道橋	塗装デザインおよび塗装色検討方法についての成果を冊子にまとめる。	全国的に撤去傾向にある歩道橋だが、秋田市新屋地区の「新屋歩道橋」は付近の小中学校の通学や公園の撮影スポットとして地域住民に親しまれている。新屋地域のランドマークとして歩道橋がどのような存在であるべきか考え、地域住民の地域への愛着を育むため、歩道橋の補修に合わせ、色彩計画を地域の人々とともに実施するためのデザイン制作を目的とする。	地域住民が本事業に関わり、地域への愛着が生まれるような新屋歩道橋の色彩デザインの制作に向けた日程調整などを行う。その成果を冊子にまとめる。	柚木恵介	秋田地域振興局建設部・アジア航測株式会社	30	4	1	1	-
特定非営利以外の事業	収益事業		事業パートナースペース運営	文化創造館事業パートナースペース運営	2023/4/1 ～ 2024/3/31	秋田市文化創造館	秋田市文化創造館の事業パートナースペース(カフェ・ショップ)を自主運営する。カフェスペースでは、地元の人気飲食店を誘致したポップアップ営業および食のイベントを開催し、話題作りを図る。またショップスペースは、秋田市文化創造館スタッフおよび地元アーティスト・クリエイターらのセレクトショップおよびコンシェルジュ機能を掛け合わせた「食とアートのキオスク」として運営する。	秋田市文化創造館への来館動機を高め、利用者の掘起しを図る。	多様な人が繰り返し訪れ、それぞれに館を活用する積極的態度を高める。	-	-	-	-	-	-	-